

## 新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 20-091	
研究課題名	脊髄髄内腫瘍の治療成績と予後改善因子の解明
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	脊髄髄内腫瘍は治療方法が確立しておらず予後不良である。本研究では、東北大学病院をはじめとする全国多施設の症例治療経験を集約し、気象疾患である脊髄髄内腫瘍の治療成績と予後改善因子の解明を目的とする。 データセンターへのデータの提供は特定の関係者以外がアクセスできない状態で行われ、匿名化される。匿名化を行う研究対象者と符合(番号)を結びつける対応表は研究責任者が保管・管理する。
利用または提供する情報の項目	カルテ番号・年齢・性別・合併症(既往症)・内服薬・発症形式・発症年月日・初診年月日・初診時神経学的所見・画像所見・入院年月日・手術年月日・手術所見・治療内容・入院時臨床経過・退院年月日・退院時所見・外来経過・最終予後・等
対象者及び対象期間	2009年4月から2020年3月の期間に、確定診断された脊髄髄内腫瘍を対象とする。
利用の範囲	本研究以外には利用しない。
試料・情報の管理について責任を有する者	東北大学大学院 医学研究科 神経外科学分野 講師 遠藤俊毅
問い合わせ先	新潟市民病院脳神経外科
共同臨床研究機関	東北大学神経外科他、全国脳神経外科施設
備考	